

男女共同参画セミナーを開催しました!

令和元年9月11日(水)に、市内小中学校の教職員及び養護教諭を対象に、LGBT★研修会を開催しました。

NPO法人ASTAの松岡成子さん(外4名)を講師にお招きし、「教育現場での性的マイノリティを考える」をテーマに開催しました。

当日は基礎知識の講義の後に、講師を交えたグループワークを行い、LGBTに関する理解を深めました。

講師は、LGBTの当事者や、当事者が身近にいる方々で、グループワークでは講師が教育現場で直面した諸問題や、教職員に望む対応などを聞き、活発な意見交換がなされました。



参加者の声 (終了後アンケートから)

- ・メディアからの一方通行な情報ではなく、我が事であることができた。(30代男性)
- ・児童からの相談があったときにどうするか、心の準備ができた。(20代女性)

★LGBTとは

レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシャル(両性愛者)、トランスジェンダー(性別越境者)の頭文字を取った単語。セクシャル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつ。

事業所向け出前講座の講師を無料で派遣します!

市内の事業所などに講師を派遣し、ワーク・ライフ・バランス等の啓発を行っています。講師の派遣料は「無料」です!(講座開催には15名以上の参加が必要です。)

内 容

ワーク・ライフ・バランスや女性の積極的な登用に関すること

- (例) ・チームで取り組む時間管理意識の高め方 ・女性が活躍する組織づくり
 ・キャリアデザイン、ライフプラン ・後輩・部下との上手な接し方 etc.

派遣できる団体

- ①一宮市内の事業所、またはその労働組合及び自主グループ
 ※労働組合及び自主グループは、事業者との共催に限ります。
- ②一宮市内の事業者で組織した団体
 ※政治・宗教・営利を目的とする集会などの場合は派遣できません。

申請書のダウンロードはこちら



詳細は、政策課までお問い合わせください。ウェブサイトでもご案内しています。

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者/岡西 美子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美

編集・発行/一宮市総合政策部政策課

〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128

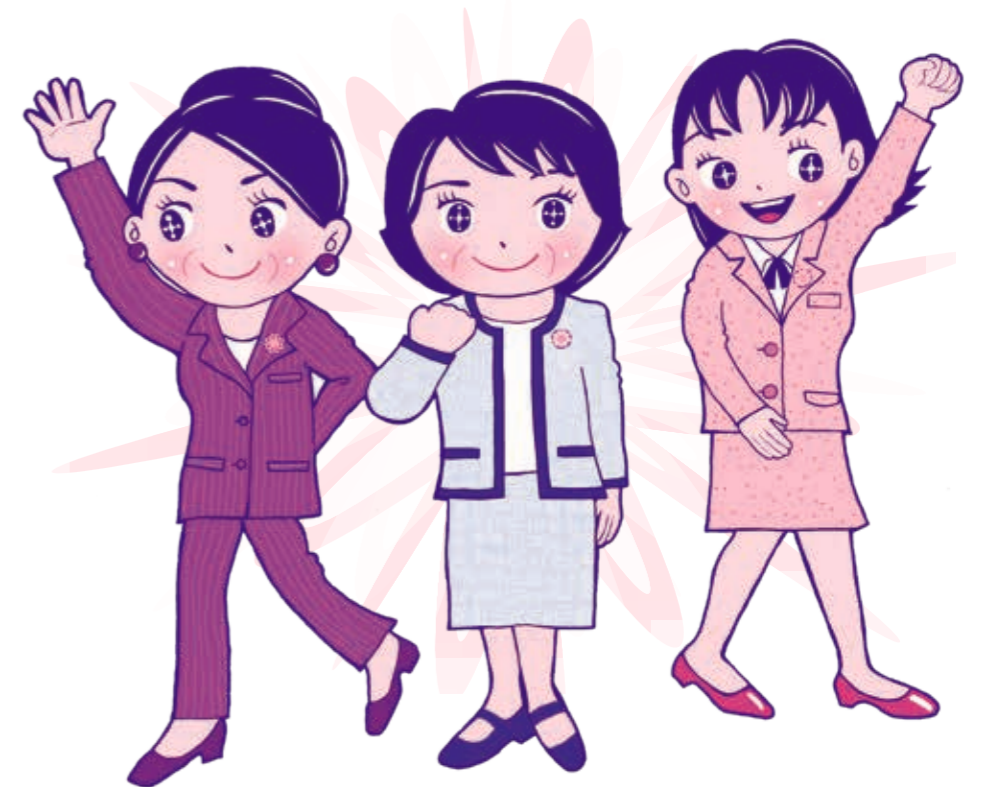
Eメール seisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/

*政策課のウェブサイト(ページID 1011667)では、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。

*『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については政策課にお問い合わせください。

いーぶん

素敵なパートナーになるために



特集

政治分野での女性参画
 ～一宮市議会編～

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が平成30年5月に公布・施行されました。

一宮市では、昨年4月に市議会議員選挙が執り行われましたが、過去最多となる、9名の女性市議会議員が選出されるなど、政治分野での男女共同参画が着実に進んでいます。

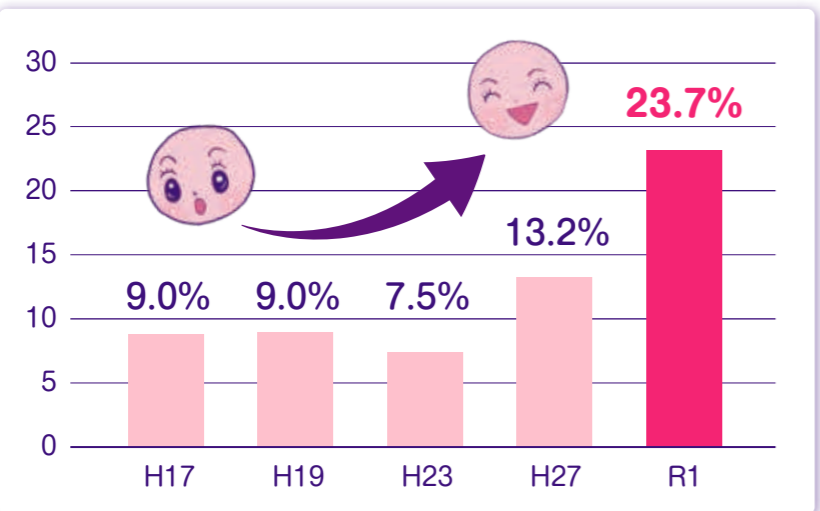
今回のいーぶんでは、一宮市議会での女性参画について、特集します。

政治分野での女性参画 ～一宮市議会編～

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が平成30年5月に公布・施行されました。国のみならず、全国各地で女性議員は増えてきており、政治分野での男女共同参画が着実に進んでいます。では、一宮市議会ではどうでしょうか？ 推移を見てみましょう。

一宮市議会における女性議員比率は？

市町村合併直後の平成17年の女性議員比率は9%でしたが、前回の選挙では13.2%になり、今回(平成31年4月)の選挙では**過去最高となる23.7%**になりました。



合併直後は一桁だったけれど、かなり増えたんだね。

でもまだ1/4以下でしょ。女性目線の意見が反映されているとは言えないよね。

ちなみに、一宮市の人口の男女比は…

性別	比率 (%)
男性	48.9%
女性	51.1%

(令和元年10月1日時点、住民基本台帳より)

参考：愛知県議会及び県内市議会(平均)の女性議員比率
愛知県議会議員：7.8% 県内市議会議員：15.9%
(平成31年4月1日時点「あいちの男女共同参画」より)

一宮市議会議長にお話を聞きました！

このように、女性議員の比率が段々と高くなってきている一宮市議会ですが、市議会議員の皆さんはどのように感じているのでしょうか。市議会の中から感じる変化等を、太田文人議長にお聞きしました。

政治分野での女性進出が進み、一宮市議会でも多くの女性市議が選ばれ、大変良いことだと思います。女性ならではの視点で、政策への質問や提案等も大いにしていきたいと思っています。

昔に比べると、女性議員だけでなく、若手議員もずいぶん増えてきました。年齢、性別に関係なく、市政に関心がある方が増えてきていることは、大変喜ばしいことです。

市政にいろいろな意見を反映させるためには、市議会においても、女性の政治参画を広げていくことが重要です。そのためには、多くの方が関心を持っていただけるよう、議会の活動を広く周知し、わかりやすく開かれた議会となるよう努力していくことが必要だと感じています。



太田文人議長

女性市議9名にも聞きました！

昨年4月の選挙では、過去最高となる、9名の女性が当選しました。(定数38名) みなさん、様々な思いを胸に立候補し、市議会議員として奮闘していらっしゃいます。そんなみなさんにも、男女共同参画のこと等を聞いてみました。



なぜ、市議会議員を志したのですか？

- 意見を言える立場に女性がいなくなると思い、決意した
- 市政の現状を変えるため、立候補した
- 市議会からなら、私の声が届くと思った
- 自分の存在した「証」を遺したい
- 女性の議員を増やしたい、女性の首長をつくりたい



男女共同参画の現状について感じることは？

- 性別でなく、能力で活躍・昇進できる環境を整えることが重要
- 一部で「女性だから後押しする」という流れがあると感じるが、性別に関係なく、能力がある者が前に出るべき
- 女性をもっと指導者、経営者の立場に立てるよう、取り組んでいきたい

- 女性自身も責任を持って前にでないといけない
- 意思決定の場にもっと女性が選ばれるような下地づくりが大切



未来の女性議員にメッセージ！

- 「女性」を意識しすぎず、アイデンティティを活かして！
- 特別な人になるものではないので、勇気をもって飛び込んできて！
- 新しい一宮市を創るためにも是非チャレンジを！



女性目線の意見を市政に反映させるためには、女性議員の数を増やすだけでなく、「政治分野は男性社会」というイメージを払拭し、個人の能力で選出される環境を構築することが重要ではないでしょうか。